

## F T P で自動バックアップ

「バックアップはだいじ」と言われても、定期的に、しかも安全な場所へバックアップするのは、なかなかタイヘン。

そこで、ホームページ用のスペースなど、F T P 接続できるレンタルサーバーを借りて、自動でバックアップしてみます。これなら、雷でパソコンや周辺機器がすべて壊れても、データは守れます。また、外出先のパソコンからでも、データにアクセスすることができます。

### 1. FFFTP の準備

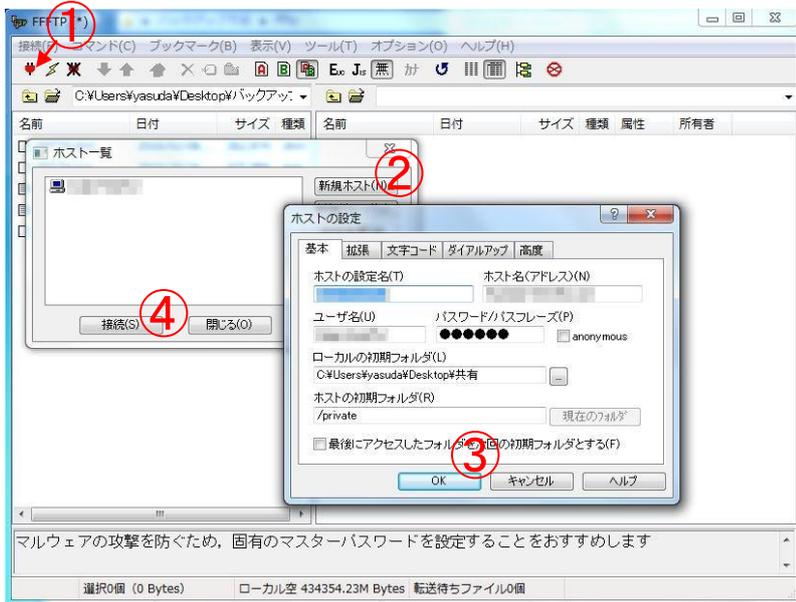


①Sota Web Page を開く。

<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html>

②「その他のダウンロード」項目の、「インストーラなし版」 FFFTP プログラムをダウンロード。

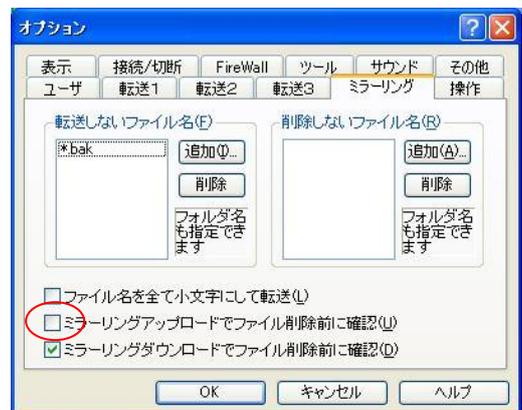
- ③ダウンロードしたファイルを解凍し、フォルダ名を「ffftp」にします。
- ④エクスプローラを開き、C ドライブのすぐ下に「Backup」フォルダを作成。
- ⑤③「ffftp」フォルダと、添付の 2 つのファイルを、④「Backup」フォルダに移動。
- ⑥FFFTP プログラム (C:¥Backup¥ffftp¥FFFTP.exe) を実行。



- ⑦①「接続」→②「新規ホスト」
- ③「ホストの設定名」＝バックアップの登録名  
「ホスト名」＝サーバーのアドレス  
「ユーザ名」＝サーバーにアクセスする際のユーザーID  
「パスワード」＝サーバーにアクセスする際のパスワード  
「ローカルの初期フォルダ」＝自分のパソコンの、バックアップ元  
「ホストの初期フォルダ」＝サーバー上のバックアップ先
- 上記を入力して、「OK」
- ④「接続」して、バックアップ先フォルダ（「ホストの初期フォルダ」）を作成しておきます。

複数のフォルダをバックアップするときは、②③④をくり返します。  
FFFTPの接続が確認できたら、FFFTPを終了します。

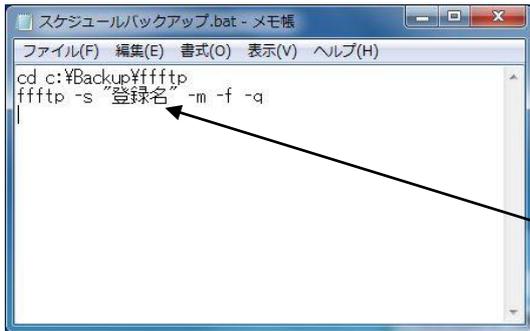
- ⑧「オプション」メニュー→「環境設定」→「ミラーリング」タブで、「ミラーリングアップロードでファイル削除前に確認」のチェックを外します。



以上の設定が終了したら、FFFTPを閉じてください。

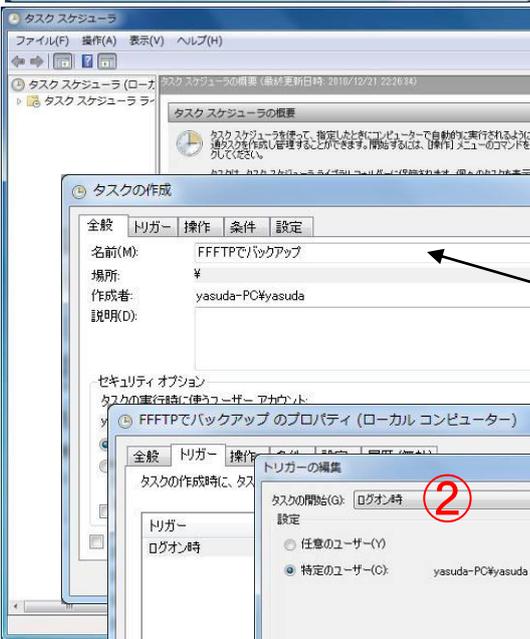
## 2. 定期的バックアップ

Windows7 のタスクスケジューラを使用します。(WindowsXP の場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「タスク」)



①メモ帳で、添付の「スケジュールバックアップ.bat」を開く。

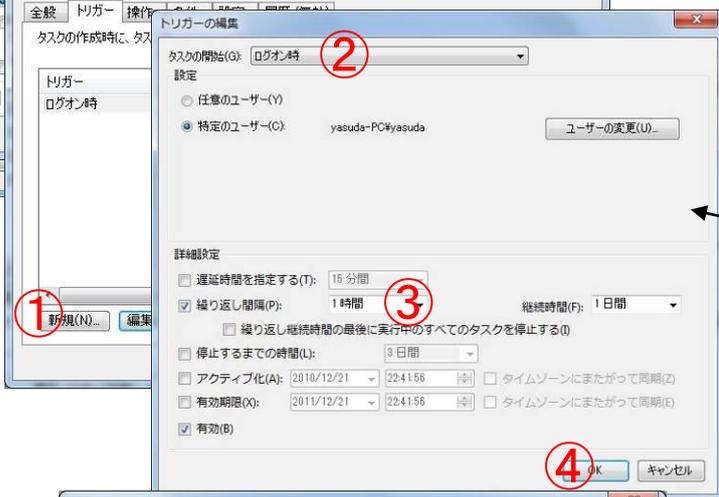
②「登録名」のところを1 ③「ホストの設定名」で登録した名前書き換えて、上書き保存。(複数のバックアップ先を登録した場合は、2行目と同様の内容を、3行目以下に書きます。)



③コントロールパネル→「システムとセキュリティ」カテゴリ→管理ツール→タスクスケジューラ

④「タスクの作成」

⑤「全般」タブで、適当な名前をつける。



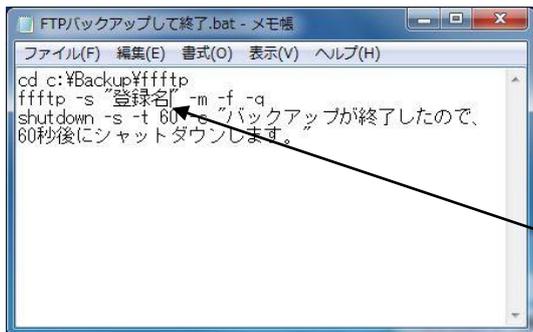
⑥「トリガー」タブで、①「新規」→②「ログオン時」→③「繰り返し間隔」を設定して④「OK」。



⑦「操作」タブで、「新規」で「C:%Backup¥スケジュールバックアップ.bat」を指定する。設定が完了したら、「OK」で閉じる。

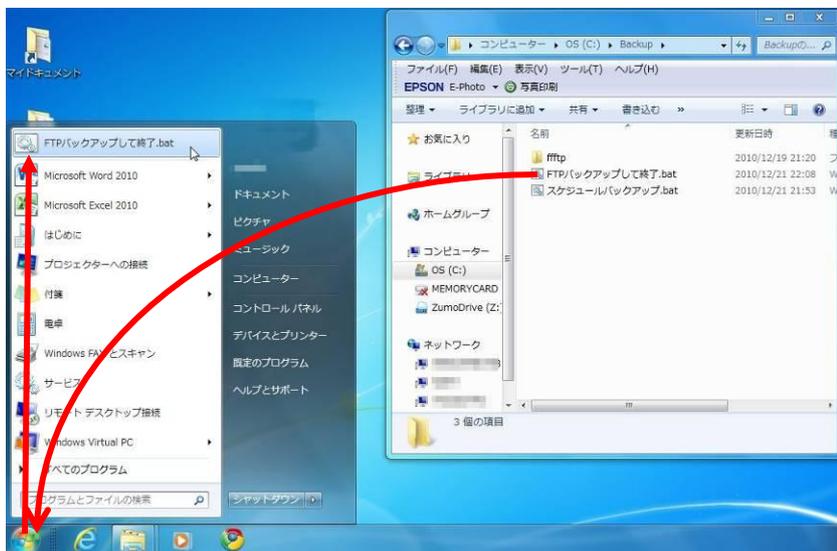
これで、1時間ごとに自動的にバックアップが行われます。

### 3. バックアップしてシャットダウン



①メモ帳で、添付の「FTP バックアップして終了.bat」を開く。

②「登録名」のところを1 ③「ホストの設定名」で登録した名前書き換えて、上書き保存。  
(複数のバックアップ先を登録した場合は、2行目と同様の内容を、3行目以下に書きます。)



③「FTP バックアップして終了.bat」ファイルを、スタートボタンにドラッグし、マウスボタンを押したまま待つ  
→スタートメニューがポップアップしたら、いちばん上にドラッグ&ドロップ。

終了するときは、「スタート」→「FTP バックアップして終了.bat」とすれば、バックアップして、自動的に終了するようになります。